

PCSA アクションレポート（理事会）

令和 1 年 8 月版

8 月通常理事会

開催日時 令和 1 年 8 月 22 日（木） 午前 11 時 30 分～午後 1 時

開催場所 TKP ガーデンシティ PREMIUM 神保町「フォレスト」

出席者 理事 8 名、幹部 4 名、合計 12 名

<代表理事>

加藤 英則 夢コーポレーション株式会社 代表取締役社長

<副代表理事>

金本 朝樹 株式会社アメニティーズ 代表取締役社長

大石 明德 株式会社ニラク 取締役

合田 康広 株式会社合田観光商事 常務取締役

<理事>

藤本 達司 株式会社ダイナム 代表取締役

山田 孝志 株式会社 TRY&TRUST 代表取締役社長

城山 朝春 ミカド観光株式会社 常務取締役

福井 宏彰 株式会社加賀屋 代表取締役社長

<監事>

川辺 悦史 株式会社セルノ 取締役会長

<モデレーター>

佐藤 公平 株式会社ダイナム 取締役会長

<アドバイザー>

牛島 憲明 牛島憲明事務所 代表

藤田 宏 株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所 代表取締役社長

第 1 号審議議案「不正対策研究部会 サブリーダー」審議【承認】

当件について事務局より説明があった。

第 18 期の不正対策研究部会は、下記の体制にて部会運営を行ってきたが、サブリーダーである倉沢 隆志氏が 9 月 20 日をもって所属する株式会社ニラクを退職する事になった。

それに伴い、後任のサブリーダーにつき、不正対策研究部会で検討をさせていただき、知識の豊富さ、リーダーシップの高さから、アメニティーズグループ 株式会社パンドラ 営業支援部主任 柏 信吾氏にサブリーダーにご就任いただきたいという結論に達した。

<現在の不正対策研究部会の体制>

担当理事 金光 淳用 株式会社ヒカリシステム 代表取締役社長

リーダー 松本 浩 株式会社ヒカリシステム 設備マネジメントグループ メンテナンスチーム アシスタントマネジャー

サブリーダー 倉沢 隆志 株式会社ニラク・ジー・シー・ホールディングス リスク管理マネジャー

<新サブリーダー候補>

柏 信吾 アメニティーズグループ 株式会社パンドラ 営業支援部 主任

<意見>

- ・本人に了承は取ってあるのか？ >はい。

<審議>

議長：それでは不正のサブリーダーを柏氏に委嘱、よろしいか。

一同：異議なし。

第2号審議議案「10月拡大理事会 開催場所」審議【承認】

当件について事務局より説明があった。

<7月拡大理事会の議論>

- ・目的を「東京の理事会に参加していない会員企業、賛助会員にご参加いただくこと」とする。（会員外の懇親会の出席は可能）
- ・その資料として、どこで理事会を開催したら出席するかのアンケートを取る。

<拡大理事会 出席可能アンケート>

Q：どこで理事会を開催したら出席が見込めますか？

A：回答8社（正会員4社、賛助会員4社）

- | | |
|-----------|--------------|
| ① どこでも大丈夫 | 4社 |
| ② 札幌 | 0社（②～⑧は複数回答） |
| ③ 仙台 | 1社 |
| ④ 名古屋 | 1社 |
| ⑤ 京都 | 1社 |
| ⑥ 大阪 | 3社 |
| ⑦ 広島 | 0社 |
| ⑧ 福岡 | 0社 |

<開催概要>

令和1年10月17日（木）

スケジュール：	午後2時	～	3時	《第78回遊技法研究会》
	3時15分	～	4時30分	《10月拡大理事会》
	5時	～	5時45分	《PCSA勉強会》
	6時	～	7時30分	《情報交換・交流会》
				（未定、会費@5000円）

開催場所： ターミナル駅近辺のホテル会議室 もしくは 近隣会議室

<意見>

- ・これで判断するのは難しい。加藤代表が判断するしかない。
- ・数的には大阪か。
- ・岡山あたりまで含めれば大阪。千里丘観光開発株式会社や株式会社三永にも声をかけていただきたい。
- ・普段来られない人が来てくれないと意味がない。
- ・中部もそう遠くないので、重点的に名古屋、大阪、中部、四国に声をかけてほしい。

<審議結果>

議長：それでは大阪で開催という事でよいか？

一同：異議なし。

第 3 号審議議案「政治分野アドバイザー 就任」審議【承認】

当件について事務局より説明があった。下記の議員より PCSA 政治分野アドバイザーの就任承諾書が届いた。いずれの先生も 8 月 8 日の勉強会にご参加いただいた先生。

<記>

①小寺 裕雄 衆議院議員（自由民主党・1 回）

IR 議連（所属）、風営法議連（未所属）、新娯楽研（未所属）

②白須賀 貴樹 衆議院議員（自由民主党・3 回）

IR 議連（所属）、風営法議連（所属）、新娯楽研（未所属）

<意見>

・8 月 8 日に参加された千葉県の先生は？ > ②の白須賀先生。パチンコが好きな先生。

<審議結果>

議長：それではお二人とも承認でよろしいか。

一同：異議なし。

第 4 号審議議案「社会貢献団体 対応」審議【変更後承認】

当件について事務局より説明があった。

<経緯>

2019 年 6 月 24 日に 21 世紀会が開催され、その中で「社会貢献団体」の設立について説明があった。従来の全日遊連傘下の「全日本社会貢献機構」を一般社団法人化し、21 世紀会加盟団体が社員となり、業界（団体）の社会貢献事業を一元化するというプラン。

これは、そもそも本年 4 月 19 日に政府により「ギャンブル等依存症対策推進基本計画」が閣議決定された。その計画の中に、パチンコ業界に対して「本年度中に、依存問題に取り組む民間団体等に対する支援を開始し、以降、毎年度、実績報告書を作成・公表」することが定められた事により立案されたもの。

<審議内容>

6 月 24 日の 21 世紀会において、主に日遊協、日工組から賛同が得られず、改めてプランを作成する必要が出た。そのために 21 世紀会各団体より意見を聞きたいとの事。

[組織案]

案 1) 原案通り、社会貢献団体は 21 世紀会加盟 14 団体が社員となるべき

案 2) 14 団体の加盟が無いのであれば、次善の策として全日遊連、全防連が社員団体となり、他団体は助成金の一部を拠出する事により参画する。（PCSA は年間 5 万～10 万円を想定）

<6 月 24 日 21 世紀会での意見>

日遊協：寄付はするので、組織は従来通り（法人格なし）でいいのではないかな？

日遊協：このような団体を作るならば RSN の支援金も対象にしてはどうか？

日工組：現在、日工組では社安研があり、一元化と言われてもすぐにできない。

<意見>

・社会貢献団体とはどういうものか？ > 現在は「全日本社会貢献機構」という組織が全日遊連の傘下に入り、RSN 等の団体に助成をしている。それを法人化し、21 世紀会加盟団体が社員団体になってはどうか、というのがそもそもの議論のはじまり。21 世紀会加盟団体の一部が社員団体になることに難色を示したことから、次善の策として全日遊連と全防連が社員になり、他団体は寄附等で支援するという考えが出てきた。

- ・業界全体として社会貢献を効率的に実施するにあたって、一本化を考えているという事。
 - ・業界としてかなりの金額を様々な団体に寄付をしているが、ホールから集めた資金であることが浸透していない事も問題。
 - ・政府の民間団体に支援する団体を作るという事を受けての回答がこれなのか。 > その通り。今年は全日遊連傘下の「全日本社会貢献機構」が対応した。継続にあたり、21世紀会で支えたいという事。
 - ・依存に特化しているのか？ > 特化していない。依存も含めて社会貢献全体。
 - ・そもそも現在行っている RSN への支援を基本計画の支援と言えないのか。
 - ・社会的に認知させたいという事でないか。それは否定しないが、全日遊連は外部の専門家も入れながらもっと広報をしっかりと発信する部隊を作るべき。これを作っても、結局は広報が上手くいかなければ、意味がない。機会があればそういった提案をして欲しい。広報は全日遊連だけの話ではなく、他団体も含めての社会に対するアピールが必須。
 - ・実際には冊子を作って「こういった貢献を実施している」とアピールしている。外向けに発表会しているが、来るのは業界人ばかり。
 - ・法人の概要、何をするのか、予算、拠出する額などが分からないと議論できない。
 - ・新法人は全日遊連に頑張ってもらいたければいいのではないか。
 - ・法人の予算の規模は？ > 現在の法人の予算規模は 1 億円と伺っている。原資はファン感謝デーの売上 1 セット当たり 4500 円が 7~8 割、残りを全日遊連で負担しているとの事であった。
- > 予算はもう少し多いと聞いている、
- ・参加した場合、費用負担はどの程度か？ > PCSA で 5~10 万円を考えているとの事か？
 - ・2 案の全日遊連と全防連だけでやっていただくことになるのか？ > 21 世紀会全体で作る事にすぐには賛成できない団体がある。対応は急ぐため、全日遊連と全防連で設立するのが現実的との事であった。
 - ・本日の質問を次の 21 世紀会でより詳しく聞いて欲しい。
 - ・どういった課題に直面していて、それをこうしたら解決できるという具体的な話を聞きたい。漠然としていて分からない。そこを聞いて欲しい。

<審議結果>

議長：それでは 21 世紀会で、詳細を改めて尋ねるという事で良いか？（下記）

- ・現在 21 世紀会が実施している RSN への支援だけでは取り組みとして足りないか？

（基本計画を詳細に読むと「相談段階（RSN）のみならず、回復・予防段階においても支援を（中略）推進する」と記載されている）

- ・広報について。社会に認知されるため専門家を使ってでもぜひ上手く発信してほしい。
- ・新法人の詳細な情報が欲しい（活動内容、予算、費用負担。何が課題でどんな解決になるのか等）

一同：異議なし。

第 5 号報告議案「賛助会員 退会」報告

当件について事務局より説明があった。下記の賛助企業 2 社より退会届があった。

<1>

会員名： 株式会社 SEC ネット

代表者： 森田 克彦様

住所： 岐阜県岐阜市

退会理由： 社内業務全般の見直しによる

退会届出：2019年7月12日

紹介者：小見山 幸治 元参議院議員

<2>

会員名：ハイライト・エンタテインメント株式会社

代表者：藤崎 浩治様

住所：東京都台東区

退会理由：回胴式遊技機の開発・製造をやめたことから

退会届出：2019年8月13日

紹介者：無し

<意見>

・特になし

第6号報告議案「同友会との検討会（御徒町会議）」報告

当件について、同会議を2019年7月31日（水）にPCSA会議室で開催した事につき事務局より報告された。

第7号報告議案「秋元先生 勉強会」報告

当件について、秋元司先生とPCSAで勉強会を2019年8月8日（木）に開催した事につき事務局より報告された。

第8号報告議案「PCSA 経由 令和1年度機構負担金」報告

当件について、事務局より説明があった。

平成30年12月31日現在の店舗数と全日加盟ホール数を調査。全日非加盟ホールは抛出団体を選び、そこから遊技台1台当たり48円を抛出する。

本年度PCSAを経由するものは、173ホール、8万3484台、400万7232円となる。

<意見>

・特になし

第9号報告議案「PCSA チャレンジブック2020」報告

当件について、事務局より説明があった。

<概要>

名称：PCSA チャレンジブック2020

ページ数：36ページ（表紙：フルカラー、本文：黒・青）

発行日：令和1年8月22日

発行部数：1,300冊

製作費：43万2216円（@332円）

<送付先>

・行政（本庁・都道府県方面）	52冊
・都道府県方面遊協	51冊
・PCSAアドバイザー	6冊
・政治分野アドバイザー	42冊

・団体	18 冊
・メーカー・ホール	159 冊
・8 月総会	200 冊
・ストック	332 冊
小計 1	860 冊
・正会員	255 冊
・賛助会員・特別会員	185 冊
小計 2	440 冊
総計	1300 冊

<意見>

- ・これはこれで良いがホームページに載せて欲しい。デジタルだと変更が容易。 > 現在も昨年のバージョンであるが掲載している。ホームページの右側にバナーを設置し PDF データをダウンロード出来るように対応している。明日以降今回のバージョンに更新する。

第 10 号報告議案「PCSA データベース 2019」報告

当件について事務局より説明があった。

<パチンコホール売上高>

こちらの項目は回答 11 社、PCSA で類推したパチンコホールの売上高は 17 兆 4856 億円でした。昨年が 17 兆 3924 億円であったので微増であった。

ダイコク SIS 白書 2019 の売上高は 20 兆 7000 億円、昨年は 21 兆 4000 億円。

レジャー白書 2019 は 20 兆 7000 億円で、昨年は 19 兆 5400 億円。

<パチンコホール営業収入>

こちらの項目は回答 11 社、PCSA で類推したパチンコホールの営業収入は 2 兆 6228 億円。

ダイコク SIS 白書 2019 の業界総粗利は 2 兆 9100 億円。

<パチンコホール雇用人数>

こちらの項目は回答 11 社、PCSA で類推したパチンコホール雇用人数は 22 万 3733 人であった。昨年は 23 万 5153 人。

総務省の平成 28 年経済センサス活動調査によると、パチンコホール雇用人数は 22 万 9441 人。

<パチンコホール法人税納税額>

こちらの項目は回答 7 社、PCSA で類推したパチンコホール法人税納税額は 904 億円であった。昨年は 709 億円。

サービス業の法人税額に占める割合について。全体が 1 兆 7063 億円なので、その約 5.3%がパチンコホールの法人税と類推できる。同様に法人税の総額は 12 兆 8580 億円なので、約 0.7%がパチンコホールからの納税と類推できる。

<時系列表>

「営業収入」「雇用人数」「法人税納税額」の 2009 年から 2019 年までの 11 年分の推移グラフを添付している。

<意見>

- ・表現が分かりにくい「売上高」と「貸玉収入」が同じ意味であることを記載してほしい。

・営業収入、粗利、売上高の語句を統一してほしい。

第 11 号報告議案「第 18 期第 1 回臨時社員総会・第 69 回公開経営勉強会」報告

当件について事務局より説明があった。

<スケジュール>

- 13 : 30～14 : 30 第 18 期第 1 回臨時社員総会
 13 : 30 開会宣言（福井理事）
 13 : 30 総会議案
 13 : 45 第 12 回 PCSA メディアアワード 2019 表彰式
 13 : 55 研究部会・研究会・プロジェクトチーム 第 18 期第一四半期活動報告
 14 : 30 閉会宣言（城山理事）
- 15 : 00～17 : 00 第 69 回 PCSA 公開経営勉強会
 15 : 00 開会挨拶（合田副代表理事）
- 15 : 00 第 1 部 パネルディスカッション『～令和時代のパチンコ産業の行方～』
 産業として安定した基盤を確立するためには
 コーディネーター： 藤田 宏 様
 PCSA 調査研究・経営分野アドバイザー
 株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所 代表取締役社長
 パネラー： 佐藤 公平 様
 PCSA モデレーター
 ダイナムジャパンホールディングス 取締役会議長兼代表執行役
 株式会社ダイナム 取締役会長
 大石 明德 様
 PCSA 副代表理事
 株式会社ニラク・ジー・シー・ホールディングス 取締役執行役専務
 株式会社ニラク 取締役 経営企画本部長
 大泉 秀治 様
 PCSA 賛助会員
 株式会社オーイズミ 代表取締役社長
 POKKA 吉田 様
 フリーライター ・ 月刊シークエンス 発行人・編集長

<意見>

情報交換交流会参加する E クライスはどこのホール企業か？ > 神奈川県、屋号はエランドール。店舗は 3 店舗。

第 12 号報告議案「日遊協 クリーンデー開催」報告

当件について事務局より説明があった。

以前に理事会でご案内の通り、令和 1 年 9 月 1 日から 10 日まで「第 2 回全国クリーンデー」を開催する。

事業所周辺の地域清掃をし、日遊協特設サイトに9月20日までに入力するもの。詳細は添付資料に記載されているので、ご興味がある方はご参加いただきたい。

<意見>

- ・活動結果はどうすればいいのか？ > 日遊協に特設ページがあるので、そこへ連絡してほしい。

第13号報告議案「同友会 25周年記念祝賀会」報告

当件について事務局より説明があった。

来る令和1年10月15日（火）午後5時45分から、グランドアーク半蔵門において同友会の創立25周年祝賀会が開催される。ぜひ多くの理事・幹部にご参加いただきたい。

<意見>

- ・特になし

その他

<PCSA スケジュール>

- ・9月の理事会会場は、TKP 神田駅前ビジネスセンター。新しい場所なので留意されたい。
- ・上野は取れなかったか？ > 機能的に改善の余地があり、今後は秋葉原をメインとする。12月以降は秋葉原に固定する。

次回開催

「9月拡大理事会」

開催日：令和1年9月19日（木）

時間：午後4時～午後5時30分

場所：TKP 神田駅前ビジネスセンター 5階5C（東京）

<同日 他スケジュール>

14：45～15：45 «第77回遊技法研究会»

16：00～17：30 «9月拡大理事会»

17：45～19：15 «情報交換交流会»

以上